

令和7年度の募集案内は令和6年11月頃に公表いたします。



国立保健医療科学院 専門課程Ⅲ

地域保健福祉専攻科

中堅期職員の次期リーダー育成に向けて
保健所長候補と一緒に学べるコースです!!

目的

地域保健福祉に関連する業務において、実践活動の質的向上を図るために必要な知識・技術を修得することを目的とします。

対象者

国や地方公共団体から派遣される保健・医療・福祉分野に従事している職員（保健師、看護師、管理栄養士、福祉職 など）。

※保健師については、中堅期後期をイメージしていますが、詳細は募集要項をご確認ください。

実施期間

4月上旬～7月上旬（約3か月）

★オンライン併用で受講しやすくなりました（参考：令和6年度）

4月（3週間）	5月	6月	7月（1週間）
集合研修	オンライン研修 ※6月に短期研修「公衆衛生看護研修（中堅期）」の合同履修がありましたが、R7年度実施については募集要項をご確認ください。		集合研修

履修科目

対人保健活動論、公衆衛生看護管理、健康危機管理/感染症、地域診断演習、人材育成方法論、研究方法、公衆衛生総論、保健統計概論、社会調査法 等

※11月からの遠隔研修「保健衛生のための研究法」の受講資格が得られます。

※次年度の申込受付は、例年では第1回目が12月、第2回目が1月の予定です。

申込受付期間

第1回：令和5年12月1日（金）～令和6年1月5日（金）

第2回：令和6年1月16日（火）～令和6年2月2日（金）

試験日

第1回：令和6年2月14日（水）

第2回：令和6年3月1日（金）

修了生の声（保健師経験10～18年）

- 公衆衛生看護管理で実践を理論に基づき整理したことで、課題解決に向けた思考過程がわかった。
- 健康危機管理は、災害対応研修へ反映できた。
- 全国の保健師・保健所長とのつながりができた。

派遣元自治体の声

- 研修での学びを業務に生かし、スキルアップになっており、ダーシップの発揮等に大変役立っている。



お問い合わせ

国立保健医療科学院

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

TEL:480458-6111 FAX:048-458-6714

E-mail: sato.m.aa@niph.go.jp

担当：地域保健福祉専攻科担当責任者 佐藤美樹

ホームページ
令和6年度の研修案内はこちら

